

## 市民のうち 27.6%が積極的疫学調査の対象になった際に、

### 接触した者を開示しない可能性がある」と回答

#### 【概要】

- 積極的疫学調査の際の接触者開示に対する市民の考えを明らかにするため、2021年1月に20-79歳のインターネット調査協力者約3,000人を対象に調査を実施しました。
- 27.6%の者が新型コロナウイルス感染症の検査で陽性反応が出て、保健所に接触者の開示を依頼された場合でも全ての接触者を開示しない可能性がある」と回答しました。
- 開示しない可能性がある」と答えた者は男性・若年者・大卒未満の者に多い傾向が見られました。
- 開示しない主な理由としては、名前を伝えることで当該人物に迷惑をかけること(47.6%)や非難されること(33.7%)などが挙げられました。
- 積極的疫学調査は次のパンデミックの際においても重要な役割を担うと考えられます。本研究で明らかになった懸念に対する配慮と接触者追跡調査の重要性に関するさらなる啓発が求められます。

東京医科大学公衆衛生学分野の町田征己らは、新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に関する市民の考えを明らかにするため、2021年1月に20-79歳のインターネット調査協力者約3,000人を対象にインターネット調査を実施しました。その研究成果が2022年6月21日に国際医学雑誌 Public Health オンライン版で発表されました。

#### 【研究内容の要約】

感染症の積極的疫学調査において、感染者本人への行動歴の聞き取りによる濃厚接触者の特定（接触者追跡調査）は感染拡大を抑制するために重要です。聞き取り調査では感染者の協力が不可欠ですが、どの程度協力を得られるかは明らかではありません。そこで本研究は、COVID-19 パンデミック時における積極的疫学調査の際の接触者開示に関する一般市民の考えと、それらに関連する社会人口統計学的要因を明らかにすることを目的としました。

インターネット調査会社に登録している20-79歳の男女3,000人（性別、年齢、居住地域の構成割合が日本人の人口構成と一致するように対象者を抽出）に、COVID-19と診断された場合に、保健機関に接触歴のある者をすべて伝えるか（接触者を開示するか）どうかとその理由を回答してもらいました。その結果、一般市民のうち27.6%がCOVID-19の積極的疫学調査の対象になった際に、接触した者を開示しない可能性を示し、その傾向は男性・若年者・低学歴の者で高いことが明らかになりました（図1）。開示する主な理由としては、感染拡大の抑制に役立つと考えていること（84.8%）や他者を守ることに繋がると考

えていること(76.4%)が挙げられました。一方、開示しない主な理由としては、名前を伝えることで当該人物に迷惑をかけること(47.6%)や非難されること(33.7%)が挙げられました。

本研究結果から、様々な理由で積極的疫学調査の際に感染者から十分な協力が得られない可能性が明らかになりました。積極的疫学調査への協力意向を高めるためには、積極的疫学調査の意義に関する普及啓発や感染症の差別(スティグマ)への対応だけでなく、隔離による社会活動への影響を減らす仕組みづくりやプライバシーに係わる接触への理解と細やかな対策が求められると考えられます。

### 積極的疫学調査の対象になった際に、 接触者した者(濃厚接触者)を開示する事への考え

#### 市民が認識している開示するデメリット:

- ・濃厚接触者への負担や迷惑
- ・周囲からの批判(スティグマ)
- ・プライバシーに関わる問題が明るみに出る可能性
- ・自分の社会活動(社会的地位・収入など)への影響
- ・濃厚接触者の社会活動(社会的地位・収入など)への影響
- …など

#### 市民が認識している開示するメリット:

- ・感染拡大抑制に寄与する
- ・濃厚接触者の早期診断に繋がる
- ・求められる責務を果たす
- …など



**市民の27.6%が接触者を開示しない可能性  
(特に男性,20-40代,大卒未満の者などで開示しない可能性が高い傾向)**

図1. 本研究で明らかになった積極的疫学調査に関する市民の考え

【論文情報】

掲載紙：Public Health

論文名：Unwillingness to cooperate with COVID-19 contact tracing in Japan

DOI：https://doi.org/10.1016/j.puhe.2022.06.018（査読済み）

著者名：

町田 征己、菊池 宏幸、小島 多香子、中村 造、齋藤 玲子、中谷 友樹、埴淵 知哉、高宮 朋子、小田切 優子、福島 教照、天笠 志保、渡邊 秀裕、井上 茂

【問い合わせ先】

東京医科大学 公衆衛生学分野 町田 征己、井上 茂 E-mail: [tmuphic.2020@gmail.com](mailto:tmuphic.2020@gmail.com)